

岩村みゆき 議員

Q・第2次「健康づくり21計画」で何をを目指すのか

A・健康長寿を目指し重症化予防と健康づくりに取り組む



Q 第2次計画ではどのようなことに重点が置かれるのか。

A 生活福祉部長
すべての人が生涯にわたり、生き生きと過ごすことのできる「健康長

寿」を目指す。重症化予防と社会で支える健康づくりが新たな視点である。

Q 健康寿命の数値目標を決めてはどうか。

A 生活福祉部長
人口規模が小さいため、統計的に認められていないので決められない。

Q・がん検診を推進せよ

A・乳がん検診は40歳と50歳の方にクーポン券を配布

Q 乳がん検診の今年度の受診者数はどうか。

A 生活福祉部長
無料化はこのまま続けるのか。

Q 26年1月末で604人受診した。昨年より134人増加している。26年度は40歳と50歳の方に無料クーポン券配布を予定している。

Q せっかく増えたのに、なぜ無料範囲を狭めるのか。もっと予防にお金をかけるべき。再考を望む。

A 生活福祉部長
国の補助が40歳のみであるが、本町は50歳にも配布する。

Q 子宮がん検診はどうか。

A 生活福祉部長
26年1月末で496人。昨年より128人減少している。

Q 新たな手立てを考えるべきである。

Q 乳がん、子宮がんのワイド検診をぜひやってもらいたい。

A 生活福祉部長
無料クーポン配布を節目で実施している。他の年齢の方には、負担をお願いしたい。

Q 胃がんの原因の95%はピロリ菌

感染によるものと言われている。慢性胃炎にも除菌が保険適用となった。胃がん検診に、ピロリ菌検査を追加するべきでは

